# 嚶鳴祭　その２

「嚶鳴祭」第一日目である８月２８日（金）は、山形市民会館において、文化部等のステージ発表が行われました。立派なホールで文化部等が日頃の活動の成果を発表し、多くの方々に観ていただきました。

故郷山形への愛をコンセプトに企画された開祭式に引き続き、「弁論大会」が行われました。各学年３名ずつ、計９名の弁士が、日頃考えていることを熱弁しました。

続いての「音楽部発表」では、東北コンクールを間近に控え、毎日の練習で練り上げた素晴らしいハーモニーを聴かせてくれました。

「箏曲部発表」では、伝統的な邦楽のスタイルを大切にしつつも、現代的な感覚をも取り入れた興味深い曲を披露してくれました。

午後のはじめは「演劇部発表」です。高校生の複雑な人間模様をモチーフとした部員による創作劇「ウラキフジ」。ミステリアスな世界に観衆は思わず惹き込まれました。

「放送部発表」では、ＮＨＫ杯全国高校放送コンテストや全国高等学校総合文化祭などで鍛え上げた力を結集し、ラジオドキュメント、創作ドラマ、朗読を披露しました。

文化部の発表の合間には、翌日のクラス企画等のＰＲが行われ、どのチームも一丸となったパフォーマンスを披露しました。

まさに文化の薫り漂う一日でした。西高生の文化活動の水準の高さが再確認できました。